

船旅はどう変わるのか



株式会社 AP PHOTO CREATIVE 代表
中村風詩人

クルーズには10年以上毎月乗船しながら国内外10隻に乗船取材。これまでに旅した国は80ヶ国にのぼる。各客船上では公演や写真講座、フォトコンテストの審査、寄港地撮影ツアーなど幅広く行っている。世界3周分の海の奇跡をまとめた写真集『ONE OCEAN』や船旅の目的地「小笠原のすべて」他、関連著書多数出版。

TOPIC

新型コロナの影響を最も受けた旅行業界だが、今秋よりスタートしたGOTOキャンペーンにより徐々に活況を取り戻しつつある。その傍らで、実に半年ぶりに邦船による客船クルーズも運航が再開されたのはご存じだろうか。

今日は船旅専門の旅行社を担う寺門達也さん（日立ポートサービスクルーズデスクの室長）とクルーズのコマーシャルを手がける中村風詩人さん（株式会社 AP PHOTO CREATIVE 代表取締役）のお二人にクルーズの今後と客船にっぽん丸の魅力について伺った。



日立ポートサービスクルーズデスク室長
寺門達也

船旅を専門に扱う旅行社、日立ポートサービスクルーズデスクの室長として、数々の客船に乗船している。さらにチャータークルーズでは航路の企画を行い、運航中にはクルーズ全体の指揮を執るほどの船旅のエキスパート。最近では「トラベル寺さん」の異名で活動するyoutubeや会員誌などを通じて船旅の魅力を伝えている。

クルーズの運航再開

寺門 今月2日からクルーズ客船の運航が再開されました。今は3隻ある日本船のうち2隻がクルーズ旅行を行っています。**中村** そう言うと驚かれる方もいらっしゃると思います。え、あんなことがあったのには？という具合に。

寺門 はい、コロナの影響で今春からクルーズは全て運航を停止してしまいました。まさかここまでの事態になるとは想像したこともありませんでした。

中村 ちょうど10年前に海外客船が日本発着クルーズを始めたことで、クルーズ旅行が一気に身近な旅のスタイルになりました。その人気絶頂のタイミングでこんなことになるなんて…。

寺門 運航停止の間、船会社に「再開されたらまた乗船したい」というメッセージが沢山届いていたという声を聞きます。**中村** 船旅は、船旅でしか味わえない一種独特の感動があるといつも感じています。クルーズロスという言葉が生まれるほど再開を望んでいる人達がいるのは間違いないと思います。

寺門 リピーターの多い米国では、実に6割もの乗客がキャンセルではなくフェューチャークルーズ（将来のクルーズ）に予約変更を申し出たそうです。それくらいにこの運航再開の知らせは待望の出来事だったのではないのでしょうか。



▲客船にっぽん丸のリニューアルにより今年新設されたオーシャンビュースイート

安全と安心の新たな旅

寺門 船旅が楽しい旅であるというよりも前に、今は安心して安全な旅であることを伝えなければなりません。

中村 はい、運航再開までは決して楽な道のりではなかったと思います。

寺門 初夏まではJOPA（日本外航客船協会）の指針になり、現在は国土交通省の定めたガイドラインに沿った対応が厳しく求められています。

中村 私も客船にっぽん丸に乗船し（一社）緑十字環境衛生公社の指導を聞いたり、

ガイドラインを拝見してとても厳格な安全対策基準に思えました。

寺門 実際の対策は数々ありますが、にっぽん丸の対策の基本は、「船に「もちこまない・うつさない・ひろげない」という三原則です。まずは持ち込まないために、乗客とクルー全員がPCR検査を受けま

す。

中村 旅行のためにPCR検査と聞くと国内では珍しいですが、実は海外では大学生が自分の大学で授業を受けるにもPCR陰性証明書が必要だったりします。いつの間にかそういう時代になったのか、という印象を受けました。

寺門 はい、加えて乗船前に体温測定や体調の自己申告を頂いています。クルーも日に2回検温を実施したりと持ち込まないための対策は徹底されています。



▲大海原をかけるイルカたち。瀬戸内海や太平洋に多く、湾内で見られることもある。野生生物は船旅の醍醐味

中村 船上でうつさない対策の徹底ぶりも驚きました。

寺門 はい、デイスタンクスや消毒など基本的なことはもちろん、送風装置に抗ウィルスフィルターや空調システムに紫外線殺菌灯を入れ、さらに全客室にウィルス不活性化の空気清浄機まで配備しています。なにより乗客を6割までに制限して、空間を確保しているのが、他の交通機関に比べて一人あたりの空間は密のない断トツの広さだと思います。

中村 さらに船上でのカードキーから個人が使用しているサービスマンやテーブルの位置情報を取得して、万が一の場合の濃厚接触者を絞ることが出来る事には驚きました。

寺門 ひろげないための徹底した対策が施されています。実際に陽性者が出た場合も一般のお客様とは交差しない特別な下船経路まで確保されています。

中村 海外のクルーズにも、ひろげないための鍵があるように思えます。例えば、フランスの船会社ボナンではコロナ禍でも既に40本以上のクルーズを運航再開していますし、比較的早期に押さえ込みに成功した台湾では、既に多数のクルーズが実施され数万人がクルーズ旅行を楽しんでいるという実績もあります。

これからの船旅

寺門 しつかりと安心と安全が確保された場所だから楽しい。それが新たな旅の入り口だと思います。



▲一品一品の盛り付けが丁寧に行われたにっぽん丸のフルコース

中村 洋上で過ごす開放感、海の上だからこそその風通しの良さも魅力です。**寺門** 一方で社交ダンスやディスコ、カジノなどは今まで通りの開催は難しくなっています。

中村 だんだんとアクティブなイメージから、ゆったりと寛ぐような過ごし方を模索していく転換期かもしれません。

寺門 それは寄港地にも言えます。寄港地のツアーでも参加人数制限やバスの座席間隔を確保しているためゆとりあるスタイルで観光が出来ます。

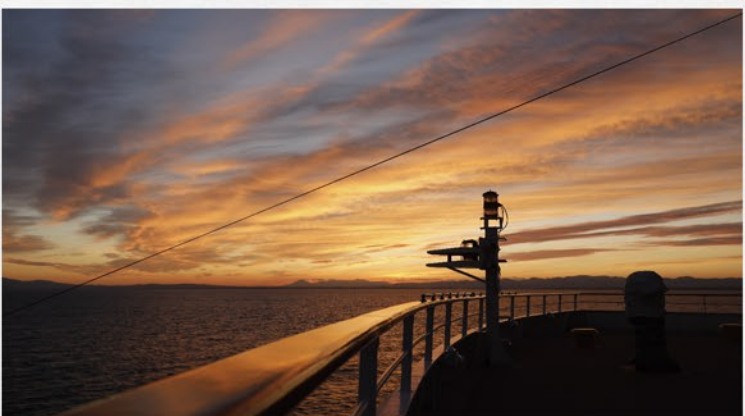
中村 はい、ベランダから海を楽しんだり、船上で自分なりのお気に入りの場所を見つれたり：海からみる日本はこれほどまでに美しいということを多くの方に実感して欲しいと思います。

寺門 それに忘れてはならないのが食事の楽しみです。美食の船と謳われるにっぽん丸の料理は、必ず体験して欲しいほどの美味しさです。

中村 年始の料理では華やかな仕立てになると聞きました。新たな年の始まりに彩りが添えられる旅は魅力的です。

寺門 スマール&ラグジュアリーのにっぽん丸ではプッシュ形式がなく全てテーブルにサービスマンされるのも魅力のひとつかもしれません。

中村 美食と絶景：船旅が再開されたという知らせは、このご時世を少し明るくしてくれるニュースのような気がしました。**寺門** それに安心も加えたのが今の船旅のスタイルですね。



▲船上の日々は常に偶然の出会いに満ちている。野生生物や虹などの自然現象、極上の夕陽も忘れられない思い出になる